

刊夕日二十月二十



定価 一部金五銭 五部金二角五銭
廣告料 五部金十二字一行金五部金
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

陣中想出話 (三)

平町出身
歩兵第三十九聯隊 水野重光
第三中隊

◇佐藤一等兵の意氣
事變一週記念日を吉林北大警兵舎に於て迎へた。

我聯隊は當時吉林東南方蟠居せる暴匪、一時は吉林市民を震駭せしめし憎き匪賊を當街東南方松花江沿岸に殲滅せしめん爲め、九月十九日夕刻より二十日に渡つて行つた掃蕩の時であつた。萬國恐れを成す夜襲を我軍は試みんとしたのであつた。

やがて匪賊の寝込みを襲ひ、周章狼狽せる彼等を驚ろかした時であつた。混戦中彼我何れより投せしか手榴弾は、我等が眼の前に最後の爆發の準備に赤い舌を出して居るのだ……。

潮聲硯靜帖

初獵にしてはめづらし獲物數名も知らぬ草に美事な紅葉かな
百舌鳥鳴くやま明けきらぬ椎大樹
長き夜や俳書などを引出しぬ
風音に燈下親しむ眼をあけぬ
引き残を畦の豆木の風にゆる
霧の中廣告燈の燈り初む
隣家も夜業して居るものゝ音

(二)

素 秋
芳 月
武 門

つた。萬事窮す。居並ぶ者全身煙と土だらけ……誰れか怪我ある者は無きや？と小隊長……。然し一言も發する者も無い。

ノート

足袋は爪先が洗ひにくうございませう、その時は大根卸を付けてしばらくおきそれから洗ふと樂です。汚れのとれない時はこの法をくりかへします。

から打ち斃す其の心地よさ十數度の戦斗に参加した自分らが、實際夜襲の効果の大なるを今日初めて痛切に感じた。

何時でも戦斗直後に人員點呼が行われる、其の際一兵ありて徐わに曰く『分隊長殿、佐藤はなんだか腹が痛えんであります。』分何うしたやられたか。』佐や

られません。』分然らば何うしたんだ。』佐『ハイ、手榴弾が眼前にて破裂した時から痛んであります。……もしや破片でも？』

佐藤の腹を撫て見た、摩する度に痛いと云ふ。良く見たが戰場であるのと、深夜であるので分らう筈が無い。『お前の氣の精だ、之れ位でへこたれて戦争が出来ると思ふか、しつかりしろよ、意氣地が無いぞ？』

彼は憤然と曰く『大丈夫であります。やります。』其の後少しも痛いと云はずに各所の掃蕩に常に一番先頭に立つて奮闘して居た。

二明日の献立

【朝】ほうれん草—むきみのみそ汁
【晝】かながしら(又はほうばう)の天ぷら
【晚】小松菜—ごまびたし

やがて掃蕩は結局を告げ歸路松花江渡船場に於て休憩した時『分隊長殿、佐藤やつぱりやられました』愕然とした。『何れ見せろ』なる程見れば驚愕せにや居られない。破片は胸中深く入り、襦袢は眞赤に染まつて居た。

ろいた。勇敢に良く其の苦痛を忍び、任務を果した彼れは實際隊の模範とするに充分なり。『斃れて後止む』我等が標語を其の儘に彼れの意氣には實際敬服して終つた。

一冊の代金 御希望通りな
五冊の雑誌が 自由に讀める
川崎巡回文庫 電六三〇番
大和田醫院 平町南町 電一七〇

内科・小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

高級貸切
不二タクシー 電・32
星野時計店 平町前通り

漆器も需要季に入り俄然暴騰致しました
絶好無二の御買時 在庫品見越買附品豊富
共榮漆器店 (平町3丁目36元郵便局裏通)

三河産業博覽會 金牌受賞
かまぼこ 製造
お惣菜用 さつま揚 吉原揚 電話一四一番

吸入用酸素 純度99%
關内藥局 電話四〇番
体温器 寒暖計

月曜是非

赤毛布の辯

大槻博士の「大言海」——今回大槻博士の心血を注いで完成した「大言海」は各方面の賞讃を博し、空前絶後の大作であるといはれて居る、だが然しある一部の識者間には「大言海はその語源の研究において遺憾な点があるのみでなく、その意義を説明した文章も又適切でない、その上解釋も妥當でないのが少くない」といはれて居る様である。

ことが出来なといふのか明治時代に流行した語で、いまは流行しないといふのか、その何れにしても事實と相違して居る。語源の説明はそれで解ることは解るが、今日では着て居るものが赤毛布であつても、マントであつても、田舎の素朴な風習を丸出しにしてゐるのを稱して依然「赤毛布」といふ様になつてゐる。

その赤毛布は少なくなつて居るが見られぬことはない北海道や樺太の一部の屋外労働者は冬期この赤毛布の切れ端を以つて脚部をまく

勅題の和歌

磐城高等女學校にては來春の和歌を全校生徒より募集中の處本日締切り宮内省御歌所に送つたが詠進者は百六十九名である

新川を縣支辨川に

悪水豫防組合維持困難

平町外内郷、飯野二ヶ村惡水豫防組合は目下着工中がある新川堤防の改修工事は大体明年三月頃を以つて竣功する豫定であるが竣功後の組合維持は不況の折柄困難なので新川を縣支辨川にせられ度いと實現促進の爲め昨拾壹日組合長青沼録太郎氏外數名が出縣縣當局に陳情する處があつた

書初課題選定

平第二小學校にては來る十九日より書初の練習を行へる

如く決定した

- △二等(農商家經濟)五年 外村武夫(磐城米)四年長瀬修造△三等(平町金融機關の消長)五年 綠川莊夫(農村副業)四年 山田正

第三方面の女子

青年團總會開く

來る二十日平館で

既報石城郡第三方面女子青年團長會は去る十日午前十時より平第二小學校に於て開き總會開催の件に就いて打合せを行つた結果來る二十日午前十時より平館に於て開催する事に決定したが當日は役員の変更、會員の意見發表(一團一名)及び磐城女校長正木貞二郎氏に講演を依頼し餘興として映畫を上場すると

家庭電化

電氣の知識

一拾三日會の講演——平町拾三日會例會は來る拾三日午後六時よりマルトセホールに於て開かれ磐城炭礦技師原田信之氏の「家庭電化と電氣の知識」と題する講演ある由

郷土産業調査

入賞生徒

平商業學校にては今夏休中の課題として四五兩學年生徒に對し郷土産業の調査をなさしめ服部、大澤、宮澤高野、武川の各係教諭が審査中の處本日入賞者を左の

篤農漁家

實情調査

縣から推薦 石城郡飯野村籍崎才三郎及び江名町太清左衛門の兩氏は今回縣より篤農篤漁家として夫々農林省の實情被調査者に推薦された

専門 内科一般

住宅診——内科は何でも診療致します 往診——呼吸器病ばかりではありません 平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之 女醫 川井安子

旭硝子株式會社製品 板ガラス

製造 賣販 硝子 食器 其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

御挨拶

本日七五三の御祝に日頃御引立の御禮として縣社子鐵倉神社前に於て粗末ながらおよろこびのしるしに「千歳飴」を差上りましたところ初めての事で豫定に不足を生じ御進呈もれの方もありまして甚だ遺憾に存じますが不惡御容赦を願います 就きましては明年は是非皆様に差上ぐることにいたしたい考で御座います一寸右御挨拶迄

貸家廣告

平驛前目抜の場所 三階建一棟七十坪 (御相談に依つては分割貸も致します)

家賃其他委細面談

平町五丁目 田屋染物店方吉野へ

千圓を突破

鮮魚關係奔走の義捐金

夫々遺族に配分

既報—過般の大嵐風禍に合計五拾五名の遭難漁夫を出した石城郡

各地漁濱の罹災者遺族を慰問すべく平町鮮魚商蒲鉾商の有志發起となり町内各方面から義捐金の寄附募集の美舉に對しては各方面からの後援支持豫想外に熱烈を極め今拾二日までに總計一千一百拾三圓の巨額に達したので

發起人側 が一、百圓を繰入れ合計一千二百拾三圓を各地役場を経て早速罹災者遺族に贈る事となつたが罹災者一人宛二拾圓の外船主へも見舞金を贈る筈である今拾二日の寄附申出は既報の外左の如くである

(貳拾五圓)平料理組合 (拾圓)青沼録太郎 平三 業保健組合(拾參圓)平辯護士有志(五圓)住吉屋本店 同住吉屋支店 同大谷武雄 同井上茂作 同野崎滿藏 同萩原義雄 (參圓)松崎長三郎 同松崎菊三郎 同鷹崎千代 同四倉座 同高倉精一 同平バブテト教習(貳圓) 田邊忠造 同永山酒店 同藤田文朗 同秋野直次 同綠川建具店 同松田卯次郎 同田口文平

同江島屋洋販店 同鈴木與一 同政井政五郎 同大崎洋服店 同田中敬吉 同齋藤敏實(壹圓)吉田定太郎 同鈴木安吉 同山下庄一 同金成國雄 同フーオド工場 同星野野治 同九一材木店 同大堀松吉 同市原守馬 同高野虎三郎 同河部文次郎(五拾錢)陳野洋品店 小金壹百四拾三圓五拾錢 累金壹千壹百拾三圓也 金壹百圓發起人一同 合計壹千貳百拾參圓也

在營中の貯金を遭難者に

懇篤な手紙を添えて

石城郡豊間村字薄磯出身高木琴治氏は目下朝鮮咸興七拾四聯隊第拾一中隊に勤務中であるが新聞に依つて郡下過般の暴風雨で最も多くの犠牲者を出した江名町に對し在營中に貯金した金二圓五拾錢と左の如き書状を添へて昨拾一日江名町役場に送付して來た

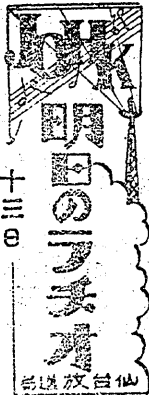
早速御見舞申上候去る日曜の酒保に行き内地の状況如何と思ひ新聞を拜見せし處拾一月拾四日夜來の暴風雨にて御地方漁船の被害並に數拾名の遭難者ある由聞き入り候御町民の御損害並に遭難者家族の御心中誠に御氣毒に思入り候入隊いたし貯めたる金にて堪だ小金に

農作受賞

飯野校品評會

既報石城郡飯野村小學校では開校十週年記念として開催した農作物品評會の受賞者を昨十一日郡農會青山技手が審査長として審査の結果左の如く決定したと

(一等)荒川庄平 柴田堯 續 鹽長兵衛 加藤邦廣 加藤勝彌 小泉忠義 鈴木作太郎(二等)白土忠雄



今晚も明日も北西の

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 唱歌劇「鬼と狐」熊本川尻子供會

後八、〇〇 獨唱と管絃樂

紫田堯續 鹽儀助 鹽要太郎 鹽演瑛 須藤藤 草野廣知 鈴木節 須藤義隆仁 大橋竹次郎 草野隆重(三等)高島喜一外二十名(四等)澤田富彌外三十二名

小使爺さん 石城郡慰勞金百圓 勿來町役場の使丁仙さん事藤田虎之助さんは十四年間町役場の小使さんとして精勤した

植田町の火事 石城郡植田町大字岩間字岩下農阿部覺太郎(五)方より十日午後十時頃火災し住宅及び物置等を全燃して拾一時鎮火損害六百圓原因目下調査中

磐中の寒稽古 磐城中學校柔剣道部にては正月十三日より二週間寒稽古を行ふ事になつたと

家事が大部分の警女卒業生

築立ち後の志望

磐城高等女學校にては此程來年四月卒業する百七十五名に對し卒業後の志望を調査したが志望別は左の如く家事が大部分である

家事一〇三 師範二部一 一 會社員九 裁縫九 東京高師五 醫學專門二 藥學二 教員二 家政學院 帝國女子專門、体育專門、バプテテスト神學校、共立女子專門、英學塾、音樂實踐研究科、東洋齒科、簿記學校、青山學院各一

二割高値

平糶業組合では此程協議の結果原料品騰貴の爲め來る十五日より各種そば、うどん類の小賣値を二割方値上げする事に決定した

時計窃取逃走 平町南町一〇飲食店鈴木辰藏方同居人伊達郡茂望村生れ鈴木書生 十八才 高卒 給

明日の部

後九、三〇 時報 全組 ユース 氣象通報 番組預告

前二、〇〇 家庭講座 「燃料の常識」小松徳四郎 後〇、〇五 映畫物語「大和櫻」長門武郎 後二、〇〇 家庭大學講座 「明治の文學」本間久雄

木善四郎は昨拾壹日午後九時頃家人の不在を寄貨として奥座敷にあつた銀側時計を窃取逃走したので目下平署で犯人嚴探中である

平裁判たより 石城郡内郷村大字宮宇御殿拾四番地難夫赤塚利之助(三)及び同所四番地坑夫齊藤致平(四)同村大字御臺境字立町三拾八番地無職穴澤新三郎(三)の窃盜及び贓物故買事件の公判は本日午前拾一時より平區裁判所に於て中島判事係り上田檢事立會の下に開廷され檢事より赤塚齊藤の兩名は各懲役八ヶ月に穴澤は懲役八ヶ月外罰金二拾圓求刑されたが言渡しは來る拾六日午前九時である

平職業紹介所報告 回人を求める方 △書生 十八才 高卒 給

科人婦。科外 院醫坂井

町田町平 番九五五話電

△塗師 二三名 委細面談 (平町某工場)

△回職を求める方

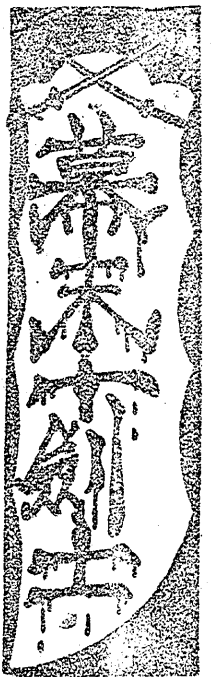
△土工夫 十八才 尋卒 給料面談(湯本町某)

△女中 二十才 高卒 給料面談(平町某)

△コック 二十三才 高卒 給料面談(平町某)

△鍛冶職 十六才 高卒 給料面談(磐崎村某)

△雜夫 五十五才 尋三修 給料面談(平町某)



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲齋

第二百廿二席 平手造酒

繁藏暗討に逢ふ

名主宇右衛門の下僕が繁藏の歸りかけるのを見て引止めようとしたが、繁藏は明日の朝佐原から客人があるからどうぞ且那や若旦那に宜しくと云ひ置いて、此處を出ようと土間の方へ来た。ト其處に臥せて居た白犬がメツと身を起して繁藏の着てゐるかたひらの裾をクワへた、平常来る度に愛して居るから犬もよく繁藏に馴染んで居る。

繁「コレ、何をやる、ふざけるな、今夜は貴様も知つて通り若旦那にお嫁さんが来て其祝ひに俺も出て来たが、明日の朝客が来るに就て引上げなければならぬえ、戻して呉れ、今夜は泊ることは出来ぬえ、コレ裾を裾を放せ、さう強く引いては一張羅のかたひらが切れて了ふ、一枚より無え着物だ、助けてくれ、この畜生、主はとぼけものだ。」

頭を撫た、犬を尾を振つて喜びクワへてゐた裾をばなしたから繁「又二三日の内に出て来るぞ、待つてゐろ」と云ひすて門を離れ



この犬がついて来る繁「コレ、歸れ歸れ、笹川迄一緒に行くと草臥るぞ歸れ歸れ」叱つたが、犬は繁藏の顔を見ながら先に立つて

行く、白い犬は人に近

いといふ事もある、繁藏に馴染んでゐるから少しも側を離れない繁「困る奴だな、それほど俺を慕ふならば笹川まで一緒に来い、何ぞ御馳走してやらう、あゝ良い風だ、時にもう十二時廻つたやうに見上げる空は瑠璃を張つ

たやう、時は六月の十五日中空には研ぎすました鏡をかけたやうな月繁「あゝ、快い心持だ、更けると涼しくなる、オ、白々、さう急ぐな、ぬしは四本足、俺は二本だ、駆け出してはかなはねえ」と云ひながら着て居た襦袢は天保銭をつないで綱のやうにしてある、先づ着込です、斯ういふ物を着て居れば斬付けられたとて重傷は負はぬ、それが爲に外出をする時はいつもこれを着てゐる、然し目方も重いそ

か向ふにあるかと月の光に繁藏が目をつけて途端に鏡からサツと突出した槍、それがピカリと光つた、後へ退らうとしたが前に氣を取られてゐた事とて右の脇腹をズバリ刺され、アツと云つた繁藏ヨロ／＼とよるめいたが其槍を押へてグツと引いた、トン／＼と前へ出た一人槍を放した所を抜打に繁藏が斬り倒した、エイ左から又も突出した槍、股を突かれた繁「名乗れ卑怯者め」と云ひながら左右に目を配つたが此の時竹藪から踊り出した五六人、繁藏を取まいて斬つてかゝつた、豪氣ではあれど重傷を負ふて了つた事とて今は力も脱けパツタリそれへ倒れるとソレやつてしまへと斬付けたがウーンとうめいた繁藏ついに三十九を一期としてこの蛇山にて悲惨な死を遂げました

つてゐたが神代の名主の所から戻るを知り打殺した、洵に卑怯な仕方夏の夜の短く何時か東も白んだ、スルト大久保と云ふ處に居る魚賣の萬藏が笹川の魚市場から川魚を買ひ出さうと盤臺を昇いで浅黄木綿の筒袖に半股引素足に草鞋穿き豆絞りの手拭ひで鉢巻威勢のいい扮装で今蛇山までかゝつて来た。

れゆゑ邪魔になると脱ぐ、今蛇山といふ所までかゝつて来た、左右は竹藪山といふは名ばかりでこれは丘です、道幅は二間ばかり蛇が澤山居る所として斯ういふ名がある、それへ来ると先きに立つた白犬がピタリと足を止めてオー／＼はえた、誰

○「もう宜いや止めを刺すには及ばぬえ、見ろ見ろ息は無えぞ」
△「さうかヤイ次郎、どうしたこいつは氣の毒な事をしたせ、成田の兄貴次郎は殺されたよ」
○「さうかどうも仕方ねえ次郎の死骸は此處へ置くな、昇いで行け」
次郎と呼ばれた者を昇ぎ繁藏の死骸は藪の内に入れ打揃つて立ち去つた、これは飯岡の乾分成田の甚藏、花輪の辨吉、八木の音松、銚子の次郎其他二人此邊に身を隠して繁藏の外出を待

平 町 二 丁 目
三井タクシ
電 話 六 八 五 番

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

◆又々ウチワ豫約期が来ました◆
明年のウチワ。扇子は諸掛のかゝる外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ！是非一度御用命を……
山久團扇店
前局町屋紺平
番九〇四(呼)話電
庫在富豊器子硝壺子菓
一タスポ。一ダンレカ

家庭温泉御案内
日本一の靈湯草津の源泉に化學的操作を加へたる
草津湯の素 家庭風呂に外用に！
心地向く温まり絶対に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。
冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其他一般消毒用として特効あり。
定價 二〇〇瓦入凡 五日分 五十錢
二五〇瓦入凡 十二日分 一圓
六〇〇瓦入凡 三十日分 二圓
其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。…煙突掃除薬も販賣致します。…石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします。
海峯線 伊藤電二商店
代理店 石炭商 伊藤電二商店
平町一丁目電話三四九番
販賣元草津温泉研究所營業部
特約販賣募集 各町村一ヶ所に限る御申越あれ
特に御相談に應ず。

磐城セメント會社特約店
久全屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

吉田眼科病院
平町一丁目、電話六八八番